

創造性豊かな人材を育てる

会津学鳳高校が研修で来町

8月1日、2日に会津学鳳高校の生徒40人がスーパーサイエンスハイスクール（以降SSH）の「地域野外研修」として只見町を訪れました。同校は、野外研修に毎年只見町を訪れており、今年で10年目となります。



▲ユビソヤナギを観察する生徒

研修では、黒谷川流域で絶滅危惧種ユビソヤナギの観察や、恵みの森で森林更新の現場を目の当たりにするなど、只見町の自然環境をじっくりと観察していました。生徒は、普段は間近で見ることが

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)とは

文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度です。福島県内では、会津学鳳高校、福島高校、安積高校の3校が指定校になっています。

取組み例

- 学習指導要領によらない教育課程を編成・実施し、理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発
- 科学クラブ等活動の充実、また各種のコンテストなどへの参加
- トップクラスの研究者や技術者等との交流や全国のSSHの生徒相互の交流

ない植物や広大な自然の中での発見を得られた様子でした。指導教諭の越尾英仁先生は、「毎年、ユネスコエコパークに登録されている只見町の自然を体験させるために訪問しているが、ナラの二次林やブナの自然林が人の暮らして調和していて理想的な実習地です。受入体制が整っていることも研修地に選んでいる理由の一つです」と話されました。

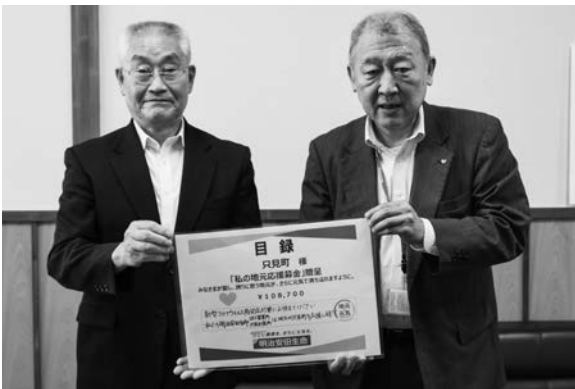
地域に寄り添う社会貢献

明治安田生命保険相互会社から寄附

明治安田生命保険相互会社坂下営業所より、1008,700円が寄附されました。

明治安田生命保険相互会社では、社会貢献活動「私の地元応援募金」を実施しています。今回はその事業の一環で、従業員らの募金と会社の寄付金を合わせ、新型コロナウイルス感染症対策のために町へ寄附されました。

8月7日、佐々木営業所長らが来庁し、菅家町長に目録を手渡ししました。有効に活用いたします。ありがとうございます。



▲目録を贈呈する佐々木所長(右)と菅家町長(左)

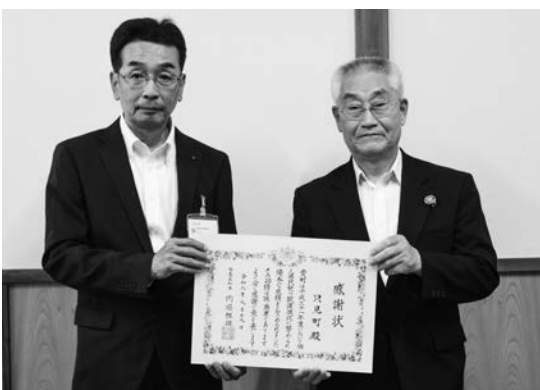
平成31年度の個人県民税納税優良の町

只見町が県知事より感謝状

8月19日、個人県民税優良町村に対する知事感謝状の贈呈式が役場で行われ、只見町が表彰を受けました。

これは、平成31年度における只見町の個人県民税の納付が優秀な成績であったことから、表彰されたもので、納付率は99.8%となりました。

贈呈式では、金子市夫南会津振興局長から菅家町長へ感謝状が伝達され、金子局長は「町民の方々に納税へのご理解をいただき感謝いたします」と納税優良に対して称えられました。



▲感謝状を渡す金子局長(左)と受け取る菅家町長(右)

只見町をオンラインで紹介

町役場見学ツアーを実施

8月20日、21日に公務員に関心のある学生や社会人に向けて、オンライン町役場見学ツアーが実施され、只見町を含めて11町村が参加しました。

この事業は、県が町村職員の採用活動を支援するもので、就職希望者へ町村や仕事内容を紹介すること、町村職員を目指す若者を増やし、将来的な職員確保を目的とするものです。

只見町からは、若手職員3名が出席し、目黒誠也さんは「地元に戻りたい」と思い職員になりました。申告相談会など、町民の方のお手伝い出来ることがやりがいです」と話してくれました。



▲仕事紹介をした只見町の若手職員
(左から目黒誠也さん、菊地優花さん、石川貴大さん)

道の駅設置に向けて

第1回・第2回道の駅検討委員会

7月28日、8月21日に「道の駅検討委員会」が開催されました。検討委員会は、関係機関の代表者や公募者を合わせて19名で構成されています。

第1回では、委員長、副委員長の選任が行われ、委員長に篠原靖さん（跡見学園女子大学准教授）、副委員長に鈴木厚さん（只見町区長連絡協議会長）が就任されました。その後、今後の計画や検討委員会のスケジュールの確認や現時点での各委員の道の駅に対する意見やイメージなどについて意見交換が行われました。

第2回では、第1回の意見等を基に道の駅の運営方針等について意見交換がされました。篠原委員長は「来訪者が目的地として目指すような観光拠点の『ゲートウェイ型』だけでなく、商品開発の加工施設（産業振興）や高齢者への宅配サービスや若者・子育て世代が集える場所等（地域福祉）の機能をもつ『地域センター型』を併せた次世代型の道の駅も出てきている。町に合った道の駅を検討したい」と話されました。



▲道の駅検討委員会資料はこちら

▲道の駅検討委員会の様子

今回は、10月に只見町の道の駅としての機能についてワーキンググループ会議、11月に第3回検討委員会が開催される予定です。なお、委員会資料については、左記QRコードからダウンロードできます。

雄大な自然の案内

「ふるさと只見案内協会」設立

8月24日、只見振興センターにて、只見町のガイド組織「ふるさと只見案内協会」の設立総会が開催されました。

同協会は、ユネスコエコパークの町として、自然保護、社会経済の発展、地域を担う人材育成を意識しながら、只見町の魅力を楽しく、安全に伝えることを目的として設立されました。

目黒良樹会長は、「本協会の目的のもとに、活動を大きく広げていきたい」とあいさつをされました。

今後は、ユネスコエコパークの普及啓発に関する事業や町内外及び海外交流、研修・人材育成等の事業を行う予定です。



▲あいさつをする目黒会長